

愛知 駅伝

仲間を信じて たすきをつなぐ！

愛知万博メモリアル 愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称 愛知駅伝）の季節がやってきました。真冬の寒空の中、県内38市と16町村の合わせて54チームが各市町村を背負ったすきをつなぎ、熱い闘いを繰り広げます。

西田泉璃さん はじめてなので 楽しんで走ります 走り切ります	安藤妃呂さん 安定したスピードで 走り切ります	竹内恵唯さん 順位を上げ 次の走者にたすきをつなげる	山田悠登さん チームの役に立てるよう がんばります。	林和範さん チームのために 自分の力を出し切ります	北原幹也さん 逆境にめげず走ります
1区 中学生女子	2区 ジュニア男子	3区 40歳以上			

今年は強い、大口町！

愛知駅伝は、2005年に開催された「愛知万博」を記念し、愛知県内市町村の交流や県民スポーツの振興を目的として、2006年より愛・地球博記念公園（通称モリコロパーク）にて毎年実施。今年で11回目を迎えました。今年12月3日（土）、12時35分に愛知県知事のピストルによりスタート。9区間計28.7kmを9人の選手がたすきをつないで走ります。

大口町代表選手は、5月に広報おお



▲一宮総合運動場で合同練習

くちにて募集。9月までの4回の記録会にて各区2名ずつの選手が絞られます。最終的には11月に2回の選考記録会がおこなわれ、出場選手が決定します。それから候補選手は、週1回の合同練習の他、各自自主練習にて走り込みをし、万全の態勢で本番に臨みます。

一昨年、大口町は歴代最高位の町村の部4位を記録しました。今年は、さらに順位を上げる期待が高まっています。今年の監督とコーチに、駅伝に対する想いと抱負を伺いました。

下田眞琴さん
最後まであきらめません

酒井 蘭さん

大口町の皆さん、
応援よろしくお願ひします！

古田拳也さん

「前に前に」
という気持ちで！

三輪有生さん

大口町を背負って
全力で走ります

小島和希さん

目指せ！区間賞！

田辺悠馬さん

準備万端、気持ちでは
負けません

吉田 梢さん

チームに貢献する

武井美帆さん

全力をつくします！

下山彩乃さん

ねばり強く！

社本莉沙さん

自分に来ることを
確実にこなします！

千田尚孝さん

ほしがりません、
勝つまでは

浅野純也さん

大口町のために
がんばります。



監督

柳沢昭光さん（大口町体育協会会長）

第7回より駅伝チームの監督を務め、今年で5回目になります。大口町は、町を上げて応援が盛り上がるチーム。大会当日は、多くの方々から応援にかけつけ、選手を励まします。応援の方の一体感も他の市町村には負けなと思います。今年さらさら順位を上げて町村の部3位以内を目指します。選手の方には、「次にたすきをつなぐまで、持てる力を最大限に発揮して」と伝えたいです。また、コースの沿道の方々からの大きな声援や旗、のぼりが選手が苦しい時の大きな支えとなりますので、ぜひ皆さんの熱い応援をよろしくお願ひします。

コーチ兼第3区走者

林 和範さん（東海理化）

走者としては、昨年度に続き、2回目の出場になります。中学と高校の途中まで陸上部。社会人になってからは10年前より勤め先の陸上部で走っています。5年前に一度コーチを務めました。そのときに小学生だった竹内恵唯くんから去年はたすきをもらい、彼の成長に感無量でした。チームでの練習は本番までに6回あります

が、できるだけみんなに話しかけてコミュニケーションをとり、選手一人ひとりのタイプや得意なことを把握してチームの結束を高められるよう努めています。

チームはとても仲が良いです。去年とほとんどメンバーが変わらず各々が去年より成長しているので、タイムにして2分以上短縮し、ずばり3位がねえらると思います。ぜひ応援よろしくお願ひします。

大口町の若い力

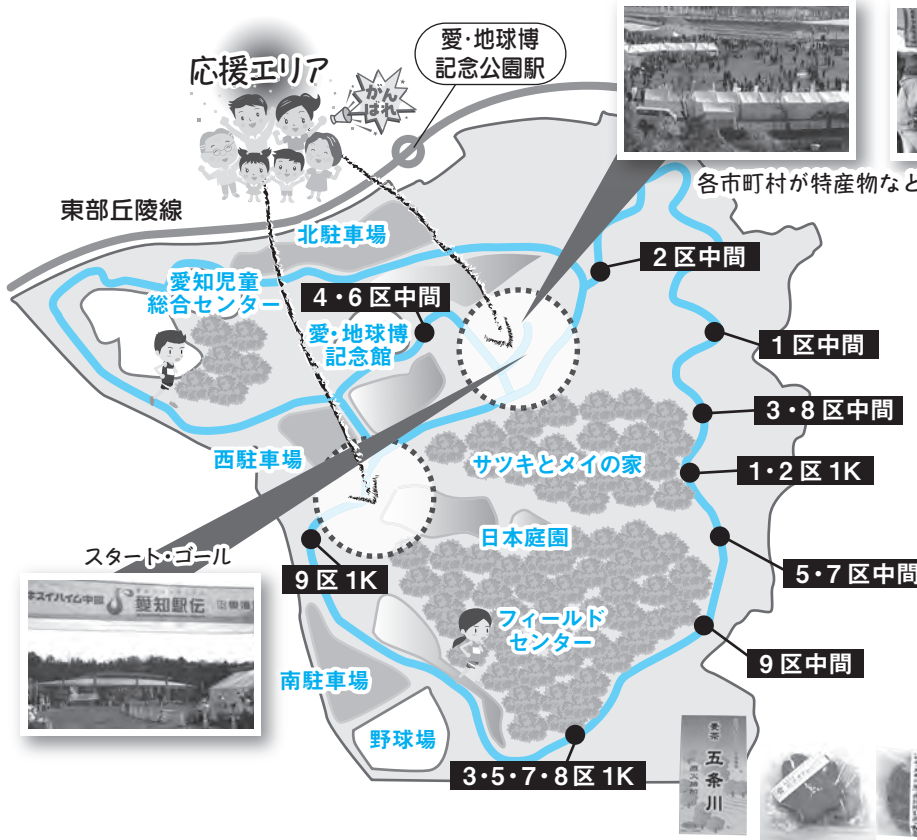
過去に見事区間賞を獲得した若い2人の選手をご紹介します。

走る事は「一番自分を出せること」
古田 拳也さん



昨年と一昨年、2年連続町村の部で区間賞に輝きました。3回目の出場となる今回は、「市の部も合わせての区間賞をねらいます」。5区のライバルの走りはすべて頭にインプットされ

愛知駅伝コース図



地産地消のあいちの名産を食べつくそう
愛知ふるさと市開催



大町も
愛知ふるさと市に
出展!



大町NPO団体
矢戸川をきれいにする会

秋田区替地を流れる矢戸川に清流を取り戻そうと、清掃と保全に努める環境保全の団体です。当日は味・量・価格自慢の焼きそばのブースを出展します。

その他、「麦茶五条川」、大町産の米粉を使用した「桜口サブレ」や「大町町酒浪漫(ブッセ)」も同時販売!



選手として走るの今回7回目。一昨年に区間賞、他に2度、区間で入賞を果たしました。今年度の目標は「順位を上げて次にたすきを渡すこと」とのことです。

中1のときに東海大会に出場し、今年度は高校の西尾張新人戦で3位に入賞しました。陸上の魅力は「自分がどれだけ頑張れるか限界に挑戦できること」。自分に甘くなり、あきらめることがあるので乗り越えることが課題だそうです。将来は、妹と一緒にフル



走れる事、「生きがい」下山 彩乃さん

今年度1500mで全国大会に出場。「テレビなどで見ていた有名選手を生で見る事ができて興奮しました。尊敬する選手は、リオオリンピックにも出場した長距離の大迫傑選手。日本人離れたストライドの大きさが魅力とのこと。将来は、全国で活躍できるような選手をめざします。菓子パンの大好きな大町中学校3年生、5区を全力で駆け抜けます!

愛知駅伝は、さまざまな世代の男女が一丸となって一本のたすきをつないでいくことに意義があります。「チームのために全力で」と意気込みを語ってくださった選手。区間のゴールで待っているチームメイトをめざして走り、世代から世代へたすきを受け継いでいくのが愛知駅伝の醍醐味です。

当日の様子は、12時より東海テレビ(1ch)にて生中継されます。現地にてまたはテレビの前にて応援よろしくお願ひします。

取材にて

身を切るような冷たい空気の中を、白い息を吐きながらまっすく前を見て駆け抜けていく各選手。抜かす選手もあり、抜かされる選手もあり、すべてが選手が苦しそうな表情の下に、孤独とチームへの責任感、そして走ることへの情熱をにじませて私たちに感動を与えてくれます。選手が「走ることは、自分の限界に挑戦すること」と話してくれたのが印象的でした。

マラソンに挑戦したいとのこと。たまごボーロが大好きな江南高校の1年生、第8区はまかせてください!